

**第5回 認知症の人にやさしい  
まちづくり**

**第6回 石狩市の取組み**

**平成30年度 上砂川町ケアサポーター養成講座  
実施レポート**

**第5回:9月3日実施 第6回:9月13日実施**

**上砂川町地域包括支援センター**

**福祉課保健予防係 社会福祉協議会**

# はじめに

各回の講座を振り返るときの参考として頂こうと、このレポートを作成しております。

今回ご参加いただいた方、過去の講座にご出席いただいた方や、希望される方などに送付させていただきます。

第1回～第4回のレポートにつきましても、随時配布しております。お気軽に社会福祉協議会(☎62-2882 担当:イサハイ)までお問い合わせ下さい。

また、第5回・第6回の内容につきましては地域包括支援センターが主となって企画しております。より詳しく知りたい方や、講座の内容を日々の生活や地域に活かして行きたいというご相談等も、ご遠慮なくお寄せいただけると幸いです。(☎62-3370 担当:内野)



# 第5回 認知症のひとに やさしいまちづくり

## 1. 開会式

### ▶ 概要

講座も5回目となり認知症分野へ突入しました。案内人は地域包括支援センターの内野です。今日は認知症老人と共に歩む会の介護劇もあり、何やら楽しい講座になりそうな予感です。



# 第5回 認知症のひとに やさしいまちづくり

## 2. 講演導入

- ▶ 上砂川町の認知症高齢者は6人に1人の割合です・・・などという報告をしました。
- ▶ 先のことを考えると暗くなるよ～との意見もありましたが、人口推計からも高齢者同士が支え合うまちづくりをさらに勧めていきたいですね！



# 第5回 認知症のひとに やさしいまちづくり

## 3. 講演(池田ひろみ氏)

認知症の人は昔、覚えた  
ことだけで今を生きています..



もしも誰かが少しの記憶を補ってくれたなら、穏やかに暮らしていくことができるかもしれない..

そんな優しい人にあふれたまちづくり  
は？上砂川町では何ができる？

➡ 深く考えさせられる話でした。



# 第5回 認知症のひとに やさしいまちづくり

## 4. さつき会の寸劇

- ▶ 心配りの足りないボランティアと認知症の花子さんの名演技…いかがでしたか？
- ▶ ちょっといじわるな感じ伝わってきましたよね【笑】
- ▶ ゴミの仕分けができない～こんなところから認知症の人の一人暮らしの大変さが伺えます。



# 第5回 認知症のひとに

## やさしいまちづくり

### 5. グループワーク

・劇中のボランティアの対応を振り返る機会にしました。

・寸劇に出て来たボランティアさんは冷たい、目を見ない、上から目線、言い方がきつい...みなさんから出た意見です。どれも好ましくない対応ですね。

どういった対応が良いのか、的確な意見も同じように多数出され、上砂川町民の、認知症に対する意識の高さを垣間見る事ができました！



# 第6回 石狩市の取組み

## 1. 開会式

- ▶ 講座も残すところあと1回になりましたね。
- ▶ 今回の地震による停電があり開催できるかヒヤヒヤしていましたが、何とか開催にこぎつけました。資料の用意もギリギリ間に合いました(笑)
- ▶ 備えあれば患いなし・・・みなさん待ち時間にも地震の話で持ちきりでした。





# 第6回 石狩市の取組み

## 2. 講演導入

上砂川町の認知症施策については何度か新聞にも取り上げられるような活動をしています。みなさんすごいです！

【上砂川町の認知症施策】

- ①普及啓発
  - ②本人・家族への支援
  - ③早期対応に関すること
  - ④行方不明者対策
- を重点に展開しています。



# 第6回 石狩市の取組み

## 3. 講演(木元国友 氏)

- ▶ 認知症徘徊模擬訓練で警察署に連行されてしまった木元さん(笑)
- ▶ 木元さんは認知症支援推進員として、熱い思いでボランティアさんと共に石狩市の認知症対策に取り組んでいると感じました。
- ▶ 介護保険制度では手の届かない、認知症の人を友人としてサポートする活動や、やりたいことを応援する活動・・・とても素敵ですね。



# 第6回 石狩市の取組み

## 4. グループワーク

グループの中では自分に無理のないボランティア活動を、趣味をもちながら続けていけるといいな。なんて話がありました。

また上砂川町の活動は石狩市に負けていないんじゃないかという話も出ていました。

石狩市ボランティアみなみたとケアサポーターのみなさんが交流できたら・・・と帰り際に木元さんは内野に伝えていきました・・・実現したい！



# あとかぎ

養成講座も後半を迎え、みなさんがちょっと勉強したり、いきいきと話している姿を見て、上砂川町の近い将来は認知症の人が増えても安心だなと感じています。

【認知症は病気⇒新しいことが覚えられない⇒時間の感覚が分からない⇒感覚を軸に生きていく⇒誰かが少しの記憶を補えば安心して過ごすことができる..】これが認知症の人の気持ちです。

ぜひケアサポーターのみなさんには今後、認知症の人とかかわるとき、認知症の内野ではなく、内野がたまたま認知症(ひとりの人)であった。でも内野はまだできることがたくさんあるよという視点をもって活動をしていただけたらなと感じています。これからも力を貸してください♡

上砂川町地域包括支援センター 内野奈穂子